事業所名	放課後等デイサービスはぁと	支援プログラム	作成日	令和8 年	2 月	12 日

法人（事業所）理念		・一人ひとりの個性が生かされ、安心して暮らせるように支援する ・地域社会の一員として共に生きていけるよう支援する
支援方針		・ひとり一人の特性を理解して支援します ・お子様の強みやできていることに着目して支援します ・保護者や関係機関と連携して支援します
営業時間		学校日 13 時 30 分から 18 時 00 分まで 休校日 8 時 30 分から 18 時 00 分まで 送迎実施の有無：あり
		支　援　内　容
本人支援	健康・生活	・基本的な生活習慣や食生活、健康について活動や関わりを通して身につけ、年齢に合わせた自己管理ができるように支援します ・私物管理や身支度を自分で行い、要求や体調の悪い時は自分で伝えられるように支援します ・自分で考えて、選択できる力をつけていきます
本人支援	運動・感覚	・あらゆる動作の基本となる体幹を養う観点からお子様に必要な遊びや活動を提供し、正しい姿勢の獲得・維持や協調性の向上を目指します ・折り紙、ハサミ、ブロック、粘土などで指先の動きをコントロールする力をつけていきます ・体のコントロールだけでなく、気持ちやテンションのコントロールにも着目して支援します
本人支援	認知・行動	・スケジュールの確認によって、時間の意識や活動の見通しが持てるよう支援します ・情報を聞いて（インプット）、行動へつなげる（アウトプット）活動を設定し、適切な行動や状況理解の向上につながるよう支援します ・苦手なことも”少し頑張ってみる”など、活動に向かう姿勢を養い、「できた」「やってよかった」と感じられるように支援します
本人支援	言語 コミュニケーション	・関わり遊びや体験を通して経験と言葉を結びつけ、体験的に言語の習得ができるよう支援します ・５w１Hなど出来事を順序立てて説明したり、気持ちや考えを適切に言語化する課題に取り組み、同年代のお友達との実践的なコミュニケーションを図ります ・少人数の関わりの中で、相手の意図を理解したり自分の気持ちを伝えたりするなど、言語を受容し表出できるよう支援します
本人支援	人間関係 社会性	・小集団の中で、集団に参加するための手順やルール、役割を理解できるよう支援します ・自分や相手の気持ちに気づいて状況理解が向上するなど、まわりの人と安定した関係を築くために必要なスキルを支援します ・ストレス発散方法や日常生活での困りごと、人間関係のトラブルなどの振り返りを行い、ソーシャルスキル・トレーニングとしてそれを実践する力を養います
家族支援		保護者面談（半年に１回）に加えて随時共有を図り、事業所での様子とご家庭での様子を情報交換します。事業所とご家族が同じ想いで支援の方向性を共有できるよう努めます。また、保護者会の実施や兄弟姉妹のお子様のご相談も受けております。
移行支援		保護者や学校、関係機関と定期的に連絡を取り合い、お子様の様子を共有します。また、高校卒業後の地域生活を見据えて準備を進めて行きます。
地域支援・地域連携		保育園、主治医や医療機関、保健師（行政機関）、障害福祉サービス事業所などと連携し、地域の人たちと交流しながら、お子様とご家族が安心して心地良い生活が送れるよう支援します。
職員の質の向上		PDCAサイクルの流れで毎日振り返りを行って次の日の改善につなげています。また、①虐待防止研修、②感染症対策に関する研修、③ハラスメント防止研修、④ペアレント・トレーニングに向けた研修、⑤法人階層別研修、OJT研修、⑥その他、外部（オンライン含む）の発達支援に必要な知識・技術の研修に参加しています。
主な行事等		長期休みを中心に季節に応じた行事・活動を行っています（地域へ外出活動、工作、調理、畑体験、もちつき大会、合同運動会、ハロウィン、勤労感謝の日、卒業進級を祝う会など）拓心館まつり